

6月26日 朝礼にて 校長講話

先週、1年生の子がたくさん「校長先生の名前がわかった」と、話しかけてくれました。翔太先生や純先生みたいに名前で話しかけてもらうことがないので、高学年の子でも先生の名前を知らない子もいるかも知れません。1年生の子、わかる。「賀島美恵子先生です」ありがとう。

今日は名前についてのお話しです。名前って言うのは、おうちの人から初めてみんなに贈ってくれた贈り物だと思います。こんな子になってほしいな。こんな風に成長してほしいなという思いをこめてつけてくれました。江戸時代のお侍さんは小さいときと元服してからと名前が変わりました。えらいお殿様から「私のこの字をあげよう」と言われて途中で変わることもありました。みんなは生まれた時から、ずっとそのままのままでいくんだよね。どんな風に名前をつけられたか知っている人はいますか。

人生でいろいろ奏でてほしいという願いを込めてつけられました。

元気に幸せに暮らしてほしいという願いを込めてつけられました。

すてきな願いが込められていますね。おうちの人いろいろな願いが込められていると思います。そんな願いの込められている名前を大切にしてほしいと思います。そして、同じくらいお友達の名前も大切にしてほしいと思います。それで、ノートやプリントに自分の名前を書くときにはていねいに書いて下さい。それから名前を呼ばれたときは大きな声で返事ができるとすてきですね。自分の名前についてどんな思いがあるか知らない人は、おうちの人に聞いてみて下さい。そして、願いに応えられるような生活を送ってほしいと思います。